

## 守山まるごと活性化 議事要旨

作成者:植村

事業名:平成30年度 まるごと活性化食の地産地消プロジェクト 館外研修

日時:平成30年9月18日(火)午前8時30分から午後4時まで

場所:京丹波「味夢の里」、妙徳山華厳寺鈴虫寺

出席者:委員16名+事務局2名

## 研修内容

## &lt;京丹波「味夢の里」地元女性グループそねっと 代表岩崎さん講演&gt;

## (講演)

- ・そねっとは「曾根の人」「ネットワークを大切にする」という2つの意味をもって名付けられた地元女性グループで、メンバーは6名。うち、3名が専業で味夢の里の工房にいる。(残り3名は他に仕事をもち、都合がつく時に参加している。)
- ・この味夢の里があるのは、特に何も無い田舎。京都縦貫道開通に伴ってH27.7月に施設ができた。
- ・味夢の里ができる2年前くらいから行政と地域、運営会社の間で「施設をどのような場所にしたいか」を話し合うワークショップが行われた、同時期に、現チームメンバーの方が「味夢の里で何か食べ物を売るような場所が設置されるらしい」という情報を聞いてこられた。
- ・チームメンバーはみな農家で、自分のところで採れる米や黒豆など京丹波のおいしいものを提供したいと検討を始めた。
- ・まず初めに保健所等の申請するにあたって「加工場」の問題が上がった。最初は公民館の厨房を借りて商品の試作をかさねていたが、同時にきちんとした加工場を確保したいと周辺の建物を探し回った。ようやく公民館裏の小さな家を見つけたが、改装費用に400万かかるという見積もりとなった。各メンバーがそれぞれの家族に、どうしてもやりたいと協力を願い出たところ快諾。改装にかかろうとした矢先に、味夢の里に地元府立須知高校食品化学科と連携するための加工場の設置が決まり、そこをそねっとも使用してよいことになったので改装不要となった。メンバーは「こんなことがあるのか」ととても喜んだそう。
- ・その後は商品開発のために、食材の研究会への参加、地域のイベントへの可能な限りでの参加等活動をしていく。
- ・食品だけではなく、個々人でラベンダーが好きだったこともあり、来た人に楽しんでもらいたいと周辺を耕してラベンダーを植えた。今ではラベンダーをつかったワークショップや、食用ラベンダーの開発によって高校と共同でアイスを作成したりもした。
- ・様々な場所に研修もし、東京に京丹波にゆかりのあるシェフがいると役場からきいてピザを習いにいたり、千葉県富浦町にびわの2級品の活用をコンセプトとした活動を視察したり、ラベンダー畑で有名な多可町へも3度ほど行かれた。
- ・北海道でも販売を行ったことがあり、その際は食材を冷凍するなどし向こうについてから調理を行った。
- ・メディアでも取り上げられた黒豆ちらしは米はコシヒカリ、具材もできる限り地元のものを使うようになっている。昔から地元では祝い事には黒豆ごはんを炊く。ちらしは郷土料理を発展させたものでもある。
- ・黒豆ちらしは豆と酢のアントシアニンが反応し、桜色になってきれい。買いに来た人にはよく「おこわですか？」と聞かれる。
- ・その他研修先のシェフにアイデアをもらった揚げピザや、食用ラベンダーを栽培して高校と共同開発したアイス等様々な商品を考案されている。
- ・一番苦労したのは「資金面」加工所を作ってもらいとても助かった。団体発足当初は6人が毎回1万円持ち寄っていた。現在は販売収益もそこそこ。出勤した人には時給を払っているが、法人ではないのでその時の売り上げによって変わる。
- ・地域の方との交流も大切にしており、新商品ができた時は一番に自治会のサロン等で試食してもらっている。また、当日食材が足りないときは他の農家さんに分けてもらったりもする。ラベンダー畑の草引き等も手伝ってくださる。

⇒裏面に続く

(質疑応答)

・自分たちでの自立的な運営をしておられ、素晴らしいと感じた。みなさんそのような経営等のご経験はあった方なのか。また、今後法人化の予定等あるか。

⇒経営等の経験はなく、原価計算や帳簿の付け方も最初は全然わからなかったので手探りでやってきた。いまではそれなりにできるよう。法人化については、元々好きよりで集まった楽しみを目的とした団体。保険に入れないことや、手当面はみな自分たちが納得してしていることなので今後も法人化してきちっとやっていく予定はない。

・それぞれに大変なことがあると思うが、そこまで活動できる源はなにか。

⇒ひとえに「やりがい」ということに尽きる。加えて地域の方のご協力と家族の理解。

・商品のパッケージ等はどうしておられるのか、業者に依頼されているのか。

⇒デザインは得意な人がチームにいるのでそのひとにお願いしている。印刷は今安くて速い印刷業者があるのでそこをお願いしている。